

令和4年度愛知県学校保健会県立学校部三河支部 保健主事・養護教諭合同研究会について

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「JSC」という。）が作成した事故防止に資する資料の活用方法を幅広く周知し、資料の活用促進を図ることで、学校の管理下における事故防止の支援や、円滑な学校教育の実施に積極的に貢献するため、担当県（富山県・石川県・福井県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県）の各教育委員会・学校（園）・関係機関等と連携し、教職員等を対象とした研修会に講師として職員を派遣しております。



【研修会風景】

今回は、愛知県学校保健会県立学校部三河支部長から令和4年12月14日（水）に安城市昭林公民館ホールで開催の令和4年度愛知県学校保健会県立学校部三河支部保健主事・養護教諭合同研究会への講師派遣依頼を受け、約70名の先生方へ以下の内容について説明を行いました。

【学校事故事例から学ぶ危機への対応について】

1 子どもたちの生命と安全を守るために

学校安全の推進に関する施策の方向性と具体的な方策は、おおむね5年ごとに閣議決定される「学校安全の推進に関する計画」に定められており、これらを踏まえて学校安全の取組を進めていく必要があります。

令和4年3月25日に、学校保健安全法に基づき「第3次学校安全の推進に関する計画」（以下、「3次計画」という。）が閣議決定されました。

3次計画は、令和4年度から令和8年度の5年間ににおける学校安全に係る基本的な方向性や具体的な方策を示しています。

ここでは3次計画における5つの推進方策ポイントについて、説明しました。

第3次学校安全の推進に関する計画

推進方策1 学校安全に関する組織的な取組の推進

- ・学校経営における学校安全の明確な位置づけ
- ・「学校安全計画」「危機管理マニュアル」を見直すサイクルの構築

推進方策2 家庭、地域、関係機関等との連携・協働による学校安全の推進

- ・学校と地域との連携・協働の仕組みを活用した学校安全の取組の推進（地域学校安全委員会、コミュニティ・スクール、PTAの参画）

推進方策3 学校における安全に関する教育の充実

- ・児童生徒等が危険を予測し、回避する能力を育成する安全教育の充実
- ・指導時間の確保、学校における教育手法の改善
- ・地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育の充実、関係機関（消防団等）との連携の強化

【資料：第3次計画における推進方策の抜粋】

2 過去の事故事例を調べる方法

過去の事故事例を調べる方法（その1）



死亡や障害など重大事故の予防のためには、ヒヤリハットの事例を校内で共有したり、他の事例を参考にしたりすることが有効です。JSCの災害共済給付データを有効活用して、全国でどのような重大事故が発生しているのかを把握するとともに、自校でのケガの発生状況と比較し課題を明確化して取り組んでいただくため、JSC災害共済給付データの「過去の事故事例を調べる方法」について、2つの方法を説明しました。

【資料：過去の事故事例を調べる方法の抜粋】

3 過去の事例から学ぶ事故防止の留意点について

ここでは、実際に起きた突然死や熱中症の死亡事例と、近年医療費給付金額が増加傾向にある中学校・高等学校で起きた事故事例の中でも特に事故件数及び重症化するケースが増加している、身体接触の多い球技種目のバスケットボール、サッカー、バレーボール、野球の体育活動中における障害事例を紹介し、それぞれの事例に対する事故防止の留意点について、外部有識者の見解を説明しました。

一例として、突然死の事例に対する事故防止の留意点の説明の中では、基本的な注意事項、疾患のある（疑いのある）子どもに対する注意事項及びその他、日頃からの心がけの3点から成る「心停止（突然死）を防ぐ10カ条」について解説しました。

お話ししました事例は、いずれも死亡見舞金・障害見舞金が支給されたもので、重大事故です。

お子さんを失ったご家族の肉体的・精神的負担は計り知れず、ご遺族の今後の人生にも影響を及ぼします。

今回説明した事例はどれも淡々とした表現で書かれていますが、その淡々と書かれた文章の行間には、このような背景があるということ想像していただきながらお聞きいただきました。

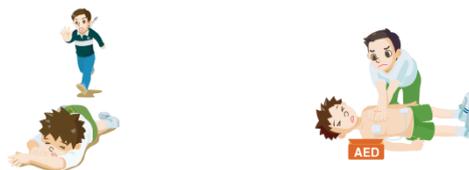
過去の事例から学ぶ事故防止の留意点（突然死）

2020死-16 心臓系突然死 高2・男

他校の運動場で野球部の練習試合中、2試合目の9回表の守備についたところ、突如意識を失い倒れた。他校教員が119番通報し、他校教員及び保護者が心肺蘇生及びAEDを装着した。救急車で病院に搬送されたが、約1週間後に死亡した。

2020死-40 心臓系突然死 特高3・女

始業前の特定時間中、玄関内の高等部作業室で生徒の顔色が蒼白であることに教員が気付いた。学校看護師が、医師の指示書通りに対応し、病院へ搬送されたが、翌日死亡した。



【資料：過去の事故事例から学ぶ事故防止の留意点の抜粋】

4 JSC学校事故防止資料の活用方法

スポーツ事故防止のための映像資料、2種類のハンドブック、学校安全教材カード、熱中症予防パンフレットの学校安全部が作成した資料のほか、ハイパフォーマンススポーツセンターが作成したアスリートだけでなく運動部活動を行う生徒も熱中症予防に活用できる「マンガでわかるアスリートを支えるスポーツ科学 競技者のための暑熱対策 運動パフォーマンスの低下を防ぐ身体冷却とは？」について説明しました。

熱中症を予防するためには（暑熱対策の漫画）



【資料：JSC学校事故防止資料の活用方法の抜粋】

【講義を終えて】

講義終了後、先生方に感想をお聞きしましたので、一部をご紹介します。

- ・本日の講演ありがとうございました。今まで知らなかった資料等の紹介がありましたので、これから活用したいと思います。
- ・具体的な事故事例等を聞いて、学校安全について改めて考えさせられました。
- ・眼の事故については、本校でも立て続けに起きた事があり、大きなケガにつながりやすいため注意が必要だと感じている。体育科の教員や部活動顧問と協力し、DVDや資料を活用して事前の事故防止について、力を入れていきたいと思っています。
- ・「その時あなたは」の動画はとてもわかりやすく、生徒や職員の研修に役立っています。今後も様々な資料を作っていただけたらありがたいです。

【最後に】

名古屋支所管内の教育委員会や関係団体において、「JSC職員から事故防止に関する話をしてもらいたい」等のご要望がございましたら、ぜひ名古屋事務所へご連絡ください。

【問い合わせ】日本スポーツ振興センター学校安全部名古屋支所
TEL：052-533-7821 E-mail：anzen-nagoya@jpnspport.go.jp